

第4回定例区議会

後期高齢者医療制度・消費税増税で格差が広がる 区長はどう考えるのか

日本共産党 代表質問で区長に迫る



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅・足立区花畑6-7-23
足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html

代表質問で取り上げたい主なもの(要旨)

質問	答弁
40歳未満で健康診断の機会のない区民のために健康診断を実施せよ	現在検討中の特定健診等健診制度全体の見直しを通して、受診機会のない区民の健診を考えていく
子ども医療費助成に入院給食費を加えよ	保険診療の範囲外の「食療療養標準負担額」を助成することは考えていない
来年4月1日から予定している保育料値上げは中止するとともに、第二子の保育料は免除せよ	保育料の据え置き、および第2子の保育料免除は考えていない
子育てバス事業の協力店拡充のため5%の商店負担分を軽減すること	現在568店舗の協力を得ている。商店の負担分を補助することは考えていない
特定検診の説明会開催と区民の声を反映させる機会をどのように図るのか	今後、後期高齢者医療制度や特定健診以外の健診事業などの動向を伝えられるよう、区民説明会を適宜実施する。パブリックコメントで区民からの意見は出来る限り実施計画に反映させていく
足立区でも自己負担なしで健診が受けられる仕組みをつくれ	自己負担金の徴収を視野に入れて検討する
区が医療機関に補助を行い、土日・祝日・夜間の健診を実施すべき	特段の助成をする考えはないが、特定健診の委託先に実施を促していく
自治体の枠を超えて受診できるように区として関係機関に働きかけよ	特定健診の上乗せ条項の統一ができかねるので当面実現は難しい
特定健診といっしょにがん検診も受けられるようにすべき	同時受診が出来るよう受診券の送付時期などについて検討する
介護保険外の「生活支援サービス」と「軽作業代行サービス」を実施せよ	介護保険外で区が独自にヘルパー派遣事業を実施することは困難
通所介護事業における昼食代補助について	引き続き検討する
介護保険料お滞納分を精算すれば介護サービスを一部負担で受けられるようにせよ	2年の時効の経過後は滞納保険料の支払いが出来ない。こうした事態に区独自の補完制度は困難
障害者が安心して暮らしていくためには応益負担を廃止することこそ根本的な解決となる	サービスを利用した障害者が定率の負担をすることが広く国民の理解につながるという国の考えは間違っていない
アリオ西新井の出店は地域商業に重大な打撃を与え、交通渋滞などでの環境悪化をまねいた。アリオの出店を積極的に誘致した区の責任をどう考えるのか	アリオ出店にあたって大規模小売店舗立地法に基づき、周辺地域への配慮を求め区の見解を許可権者の東京都に上申した。地元商店街の自主的な取り組みを尊重しながら共存共栄が図れるように支援策を検討する
マンション対策について、耐震診断や大規模改修などへのノウハウの支援を	耐震改修の助成があるが、それ以外は個人財産なのでそれぞれの責任で対応すべき
教育環境整備について、部活動支援や特別教室の冷房化、学校職員を増員など要求	部活動支援は補助要綱を決めて実施している。特別教室の冷房化は部屋の規模が大きいことから、現在の受変電設備では対応できず大規模工事が必要となるため困難
区のいっせい学力テストは中止すべき	多くの学校から、区の学力調査が有効との意見をもらっている。引き続き実施する。
都立駒込病院を東京都直営で存続するように求めるべき	診療業務は直営で実施すると聞く、PF1による改修後も従来の医療機能は確保され、充実されるものと考ええる。

お金のないものは長生きしてはダメですか

第四回定例区議会(十二月議会)が、十二月三日から十九日まで十七日間の会期で開かれました。

日本共産党は、代表質問にさとう純子議員をたて、後期高齢者医療制度や、消費税増税など格差を広げる問題で、区長の政治姿勢を問い、特定健診、足立の学力テスト問題と教育改革、障害者、介護保険、西新井アリオ関連、マンション対策、都立駒込病院問題などで質問しました。

「後期高齢者医療制度」が来年4月から実施されようとしていま、求める地方議会の意見書が295

「凍結」「見直し」などを



自治体(11月13日現在)をこえ、住民の中止・撤回を求める声もひろがっています。

11月20日に東京都広域連合で後期高齢者医療制度の保険料が決まり、それによると、人あたりの平均保険料は国が予想していた年額7万4千円をはるかに越え、10万2900円。さらに問題なのは23区在住者の場合、年金収入が年額388万円までの人が支払う保険料は、現行の国民健康保険料と比べて増額になる一方、そ

え、10万2900円。さらに問題なのは23区在住者の場合、年金収入が年額388万円までの人が支払う保険料は、現行の国民健康保

れ以上の年金収入がある人は逆に減額になるという所得の低い人の負担が重くなるという格差があることです。区長はこのようにいっそう格差が広がることについてどのように考えるのか。また、区長は区民の公的医療と生存権を守る立場から何らかの対策を考えるべきと質問しました。

区長は、国の考えを説明した後、後期高齢者医療制度では、保険料の賦課方式の違いから、所得層によって、国保料との差異が生じ

保育園児募集 受付期間 12月1日~19日

来年4月からの保育園児募集が始まりました。
ご相談は、伊藤和彦へ区議団控室 TEL(3880) 5770

2面へ続く

東京都平均、23区との比較一覧表
疾病別受診件数(40歳~74歳)の抜粋

こんなに深刻な足立区民の健康状態

それなのに健康を有料にするのですか？

左記の表は、糖尿病、高血圧症、虚血性心疾患、腎不全など生活習慣病といわれる病気の受診件数を東京都平均、23区との比較であらわしたものです。足立

区民の健康状態がきわめて悪く、深刻であることが明らかに。現在、無料で実施されている健康診査を充実するとともに、特定健康診査では受診率を平成20年度までに34%、22年度までに50%、24年度までに65%をめざすとして、約5万3千人が新たに(国保事業に組み入れ最高3割負担)の方向を示しています。

順位	糖尿病 件数/千人	高血圧症 件数/千人	虚血性心疾患 件数/千人
1	目黒区 36.46	港区 85.5	中央区 10.07
2	杉並区 37.44	新宿区 98.6	渋谷区 10.41
3	新宿区 37.83	渋谷区 100.3	港区 10.42
4	港区 38.41	中央区 102.6	文京区 10.47
5	世田谷区 38.7	目黒区 108	台東区 10.76
6	渋谷区 39.83	千代田区 109.4	豊島区 11.05
7	中野区 39.9	世田谷区 112.4	新宿区 11.14
8	文京区 39.9	中野区 114.7	中野区 11.18
9	中央区 41.55	杉並区 115.1	杉並区 11.18
10	台東区 42.05	文京区 121.7	墨田区 11.37
11	品川区 42.9	豊島区 122.9	北区 11.51
12	豊島区 42.98	品川区 128.7	板橋区 11.6
13	東京都 44.49	大田区 129.9	目黒区 11.75
14	大田区 44.49	東京都 130.5	品川区 11.93
15	千代田区 44.57	北区 131.3	世田谷区 11.96
16	特別区 44.69	特別区 131.8	千代田区 12
17	練馬区 45.04	台東区 131.9	特別区 12.13
18	板橋区 45.17	練馬区 132.9	大田区 12.18
19	北区 45.28	板橋区 139.4	東京都 12.2
20	墨田区 47.86	江東区 148	江東区 12.3
21	葛飾区 48.38	江戸川区 148.2	荒川区 12.52
22	江戸川区 48.71	荒川区 151.7	練馬区 12.58
23	江東区 49.63	墨田区 153.3	江戸川区 12.86
24	荒川区 50.31	葛飾区 156	葛飾区 13.67
25	足立区 56.18	足立区 161.3	足立区 14.73

「健診実施計画」区民意見の提出締め切りは15日
「特定健康審査実施計画中間報告(案)への意見」と書いて区役所へ
Fax (3880) 5618

健診の有料化検討状況

○=無料の予定
△=現在検討中
×=有料化を明言

千代田	○
中央	○
港	○
新宿	△
文京	○
台東	△
墨田	△
江東	△
品川	○
目黒	○
大田	△
世田谷	△
渋谷	○
中野	△
杉並	○
豊島	○
北	△
荒川	△
板橋	△
練馬	△
足立	×
葛飾	○
江戸川	△

「一面からの続き」
低所得者対策では、広域連合協議会では、低所得者対策として、所得割の軽減の限定的措置を検討しており区長会としても合意している。この低所得者対策は東京都に財政支出を求めている。保険料の減免は広域連合の権限であり、

所得の低いものほど負担が重い消費税
それでも「広く薄い負担」というのか
経済財政諮問会議は消費税を17%に引き上げることを必要とし、これに続いて財政制度等審議会、政府税制調査会、自民党の財政改革研究会が次々と消費増税を打ち出しました。

区長は「これまでの税制改定などによる区民の負担増について本会議で、広く薄く負担を求めていくことはやむを得ないものと認識している」と答弁していますが、消費税は広く薄く分け合うところか所得の低い者ほど負担が重く、貧困と格差を広げる税制である。区長は消費税の増税も「広く薄い負担」と考るのかと質問しました。

「これに区長は答えず、政策経営部長が、「かねてより所得に対して逆進性を内包しているとの指摘があるが、所得はいか消費されるものか考え方に立てば、消費は一時点の所得よりも生涯を通じて経済力をより正確に反映しているとも考えられる。これに比例的に負担を求める消費税はむしろ負担の公平に資するとの見方も可能。昨今議論されている消費税を社会保障財源として位

区独自の保険料を減免するとは出来ない。区としては保険料抑制のため、葬祭事業を始め、審査手数料および財政安定化基金拠出金など、本来保険料でまかなうべき負担を区の一般財源から繰り入れることを予定していることを明らかにしました。

置つける場合には、所得再配分に寄与することもあると「思う」と消費税を肯定する立場を表明しました。

くらしの相談

いつでも受付ます
伊藤和彦区議へ 区役所控え室 3880-5770
自宅 3859-6952



光の祭典2007

竹ノ塚駅から元淵江公園まで歩きましょう
12月17日(月)午後6時集合。伊藤区議も参加します。竹ノ塚北みんなの会